

Pearl Memorial presents Soul Carrier

祖先を家族のもとへ

マウイ島宗教コミュニティへのご提案

エグゼクティブサマリー

課題：ハワイの日系人18万人。多くの家族が80年前に日本との絆を失い、遺骨を届けられないまま世代が途絶えようとしている。

解決策：Soul Carrierは、戸籍・寺院記録の調査から遺骨の直接お届けまで、全てを無償で代行。

なぜ私たちだけができるのか： - 日本語ネイティブ家族：日本語母語、英語対応可能。娘も日本語話者 - 兩国に生活拠点：マウイ+千葉・宮城（日本）
行政・寺院の専門知識：戸籍取得、過去帳調査、手続き代行の実務経験 - 家族で動く：佐藤家3人が一体となって活動。信頼と継続性を担保 - 自らも墓守：マウイの本家墓を継承決意。当事者として使命を共有

実績：Maria Lanakila教会との関係構築、マーティン（70代日系人）のケース進行中、マウイ全域でネットワーク構築済み。

お願い：対象ご家族のご紹介、移動手段のご支援。

現状：80年の断絶

ハワイには18万人以上の日系人が住んでいます（米国国勢調査）。第二次世界大戦中に多くの家族が日本の親族との連絡を失いました。

緊急性のデータ： - 日系1世・2世の平均年齢：85歳以上 - 毎年、推定数百人が遺骨を届けられないまま亡くなっている - 日本側の受入親族も高齢化一両側で時間切れが迫る - 3世も60-70代に突入一家族の物語を知る最後の世代 - ハワイの日系人の約30%が何らかの形で祖先との断絶を経験（日系コミュニティ調査推定）

今動けば、まだ間に合う。待てば、永遠に届かない。

使命

Soul Carrierは、この断絶を繋ぎます。海を越え、世代を越え、宗派を越えて：

- 戸籍や寺院記録を通じて日本の親族を探す
- 行政・文化的な手続きをナビゲートする
- 遺骨を直接届ける

あなたが長年抱えてきた想いに、私たちは寄り添います。

なぜ全宗教か

仏教徒の祖母にカトリックの孫がいるかもしれない。大切なのは儀式ではなく、再会です。

Soul Carrierは全ての信仰を尊重します。祖先は家族のものであり、特定の宗派のものではないからです。

Pearl Memorialの由来

パールは18年間、私たち家族と共に生きた愛犬でした。2025年に亡くなった時、私たちは彼の遺骨をパールハーバーに持っていました。日米の断絶の象徴であるその場所で、妻・美那と娘・糸と共に、歴史によって引き裂かれた家族の平和を祈りました。

同じ年、私の本家の血筋の墓がここマウイにあることが判明。その血筋は途絶える危機に瀕していました。私と妻は共に次男次女一両家の墓を守れる唯一の世帯です。私たちはマウイの墓守を引き受けた決断をし、日本とハワイを往復する生活を選びました。

これは単なるプロジェクトではありません。私の人生の道です。

なぜ私がやるのか：マーティンの物語

2025年12月21日、娘が高熱を出しました。行き場を失い、助けを求めて教会へ向かいました。そこで出会ったのがマーティン（70代・日系アメリカ人）でした。

彼は一言、「Japanese bond（日本人の絆）」と言いました。彼の母・照子さんは日本人。3年前に亡くなり、遺骨は今もハワイに。群馬県の家族のもとへ届けたいが、日本語が話せず、手続きもわからない。私にはできます。

「教会で卓也さんと出会った時、娘さんが発熱していて助けを求めていました。家族を大切にする姿勢に共鳴し、私も彼を助けたいと思いました。彼は私が3年間抱えてきたものを初めて理解してくれた人です。母の帰郷を、彼に託します。」— マーティン

私について

佐藤卓也 — テクノロジー、コンサルティング、異文化コミュニケーション分野で20年以上の経験を持つ専門家。デジタルトランスフォーメーション、コミュニティ組織化、災害復旧支援の経験あり。

資格	詳細
言語	日本語ネイティブ、英語対応可能
拠点	マウイ+千葉・宮城（日本）
行政経験	自治会長現任（2年目）
専門知識	戸籍・寺院記録・行政手続き

すでにやったこと

Soul Carrier関連： - マーティンのケースの調査予算を私財で編成、日本の家族候補に調査の手紙を送付 - マーティンの家紋をコルクに刻印オーフグリッド環境で製作 - マウイ島全域の西洋・東洋の墓地墓石を家族で見学

宗教コミュニティとの関係： - Maria Lanakila Catholic Churchがオーフグリッド支援の縁で家族の短期滞在を支援（\$885） - カフルイ浄土ミッションでオーフグリッド専門家として30名以上に自己紹介 - オーフグリッド支援：ラハイナ浄土ミッション、ホノルアベイファーム、ハナファーム

マウイでの信頼構築： - ハナの農場コミュニティでネットワーク確立 - マウイ各地で手作り石鹼130個以上を配布 - ギフトエコノミーを実践 - 大手リゾートより施設利用権、地域リゾートよりホスピタリティールーム提供

技術・サービス： - ハナでPearl Memorialレーザー刻印サービス稼働中 - 三億年記録可能な石英刻印技術を確立、QRを使った音声物理化技術を確立 - データ圧縮に関する国際特許出願中

教会との関係

2025年12月、Maria Lanakila Catholic Church（2023年ラハイナ大火災で唯一残った教会）が佐藤家の短期滞在を支援してくださいました。これは私たちが近隣ファームへのオーフグリッド支援を行う中で生まれた縁であり、家族の安全を配慮いたいた結果です。

この経験を通じて、マウイの宗教コミュニティとの信頼関係を築き始めています。

サービスの流れ

ステップ	内容	期間
1	ご家族の特定・ヒアリング	1週間
2	日本の親族調査（戸籍・寺院記録）	1-2ヶ月
3	受入側との調整（寺院・家族）	1-2ヶ月
4	遺骨のお届け（直接持参）	1-2週間
5	報告書提出（写真・記録付き）	1週間

1件あたり：3-6ヶ月 | 成功率目標：80%以上（親族特定ベース）

調査プロセスの詳細

- 初期ヒアリング：ご家族から名前・出身地・年代などの情報を収集
- 戸籍調査：状況に応じた方法で戸籍謄本を取得（ご本人請求・委任状・日本側親族連携）
- 寺院記録調査：過去帳・墓地記録から家系を辿る
- 家紋調査：家系に基づく家紋を特定し、レポートを作成
- 現地調査：必要に応じて日本の現地を訪問し、親族・寺院と面談
- 受入調整：日本側の家族・寺院と帰還の日程・方法を調整
- 法的手続きを調整：改葬許可申請に必要な書類（死亡証明書、火葬証明書等）の取得を支援。自治体との事前確認を含む

遺骨の取り扱い：安心のプロトコル

- 直接持参：郵送・第三者委託は一切なし
- 管理記録：写真付き全行程記録を提供
- 24時間連絡：お届け完了まで随時状況報告
- セレモニー同席：ご希望があれば帰還式典に立会い
- 法令遵守：日米両国の遺骨輸送規制を完全遵守

費用の完全透明化

ご家族の自己負担：\$0（全額スポンサー負担）

費目	内訳（1件あたり目安）
調査費	\$500（戸籍取得・翻訳・通信）
渡航費	\$2,000（航空券・現地移動）
滞在費	\$1,000（宿泊・食事）
式典費	\$500（寺院謝礼・供花）
予備費	\$1,000（緊急対応）
合計	\$5,000/件

※ご家族が同行希望の場合、その渡航費のみご負担

親族が見つからない場合

- 実施した調査の完全な記録を提供
- 日本の寺院と連携し、適切な埋葬オプションを調整（永代供養など）
- 未使用資金は全額返金（会計報告付き）
- ご希望があれば、一般的な先祖供養を日本の寺院で実施

よくあるご質問（FAQ）

Q: 本当に無料ですか？隠れた費用は？ A: ご家族の負担は完全にゼロです。全費用はスポンサーがカバーし、会計は全て公開します。

Q: 遺骨を預けるのが不安です A: 写真付き管理記録、保険加入、24時間連絡体制で安心をお約束します。私が直接参り、郵送や第三者への委託は一切行いません。

Q: 日本の家族が見つからなかったら？ A: 調査記録を全て提供し、日本の寺院での適切な埋葬を手配。資金は返金します。

Q: 宗派が違っても大丈夫？ A: 全宗派対応です。仏教・キリスト教・神道、どの信仰も尊重します。

Q: この活動は継続しますか？ A: Digital Wheel, LLC（日本法人）が運営。501(c)(3)取得も検討中。諮問委員会で持続性を担保します。

Q: 自分のコミュニティにどう説明すればいい？ A: 本資料をそのままお使いください。個別説明会も対応可能です。

Q: どのくらいの期間がかかりますか？ A: 通常3-6ヶ月です。調査の複雑さにより変動します。

Q: 日本に行ったことがない家族でも依頼できますか？ A:もちろんです。必要な情報（名前、出身地の手がかり等）があれば調査を開始できます。

貴コミュニティへのベネフィット

- 信徒の長年の願いを実現
- コミュニティの絆を強化
- 先祖供養という信仰の本質的使命
- 完全な記録：報告書・写真・感謝状
- 他宗派との協力実績を構築
- 付加サービス：家紋（Kamon）刻印を特典として贈呈
- 日本の買い物代行：仏具・線香、日本の市販薬、食品・調味料など
- デジタル遺品整理：写真・動画・メールの保存支援
- 遺品整理サポート：ランドセルへの運送代行
- 教育機会：日系移民の歴史を次世代に伝える機会

ガバナンス体制

役割	担当
運営主体	Digital Wheel, LLC(日本)
代表	佐藤美那
アンバサダー	佐藤卓也
会計監査	年次外部監査予定
諮問委員	宗教者・法律家・日系コミュニティ代表（構築中）

報告義務：全支援者に年次報告／各ケース完了後に個別報告

私たちのコミットメント

すべてのケースを、必ず結論まで導きます。

- ケース完了責任：一度お引き受けしたケースは、必ず結論（帰還 or 調査終了報告）まで遂行
- 万が一の継続保証：やむを得ず活動継続が困難な場合、調査記録を全て引き継ぎ、他の信頼できる団体・個人への橋渡しを実施
- 未使用資金の返金：ケース未完了の場合、未使用資金は全額返金（会計報告付き）
- 当事者としての覚悟：私たち自身がマウイの墓守を引き受けた当事者。逃げ場はありません

なぜ信じられるのか： 私たちはマウイに戻り続けます。本家の墓がここにあるからです。

支援オプションのご確認と決定

今すぐできること（5分で完了）： - □ 対象ご家族を1名ご紹介 → 無料 - □ 15分の相談を予約 → 無料 - □ マイルを寄付 → 実費のみ - □ \$1,500で調査開始 → 1件分

早期支援への感謝： - 初期のケーススポンサー → 創設メンバーとして記録に掲載 - ご紹介いただいた方 → 帰還セレモニーへのご招待 - 支援いただいた皆様 → 石英に支援順で刻印（3億年保存）

最も必要なもの：移動手段 - 航空マイル・フライ特斯ポンサー - 車両アクセス（レンタカー・ライドクレジット） - 渡航助成金 - その他、移動を可能にするあらゆる方法

1件の帰還がもたらすもの： 80年越しの再会。家族の物語の完結。次世代への遺産。

金銭支援レベル	金額	実現すること
調査スポンサー	\$1,500	1件の調査（渡航前）
ケーススポンサー	\$5,000	1家族の完全帰還
年間パートナー	\$15,000/年	年3件
ミッションパートナー	\$50,000/年	無制限+日本拠点
ファウンディングサークル	\$200,000/年	完全存続保証

スポンサーモデル例：

あなたの立場	できること	実現すること
日系3世・会社員	余ったマイル5万マイル寄付	1往復分の渡航費
教会の牧師	信徒に声掛け、1家族を紹介	80年越しの帰還が始まる
地元ビジネスオーナー	\$1,500で調査スポンサー	1件の調査費用を全額カバー
退職した日系2世	親族の情報・写真を提供	調査の重要な手がかりに
県人会メンバー	会報で活動を紹介	対象家族の発掘につながる
ハワイ在住の日本人	通訳・現地同行ボランティア	言葉の壁を越える橋渡し

資金使途の拡大： Soul Carrierの活動基盤として、以下の支援活動にも資金を活用します： - オフグリッド構築支援：災害に強い自立型インフラを宗教施設・コミュニティに提供 - コミュニティ強化支援：日系コミュニティの世代間交流・文化継承イベントの開催

長期ビジョン

年	目標	マイルストーン
1年目	3件完了	プロセス確立・実績構築
2年目	7件完了	501(c)(3)取得・チーム拡大
3年目	10件以上/年	持続可能モデル確立
5年目	他地域展開	全米日系コミュニティへ
10年目	国際展開	ブラジル・ペルー等の日系社会へ

潜在的なパートナーシップ

- 日系人会・県人会：対象家族の紹介、コミュニティへの周知
- 日本の寺院ネットワーク：受入先の調整、永代供養の手配
- 航空会社：マイル寄付プログラム、渡航支援
- 葬儀社：遺骨の適切な取り扱いに関する助言
- 大学・研究機関：日系移民史の記録、口述歴史プロジェクト

メディア・認知の可能性

支援組織は以下の形で認知されます： - 活動報告書に組織名を掲載 - メディア報道時にクレジット - 帰還セレモニーにご招待 - 年次報告書での感謝表明 - ドキュメンタリー制作時の協力者として紹介

補足資料（ご要望に応じて提供）

- 活動写真（家族、教会、Pearl Memorial）
- マーティンからの推薦状
- 詳細な調査プロセス説明書
- 過去のオフグリッド支援実績
- 遺骨輸送に関する法規制の概要

次のステップ

- 15分の相談を予約（メール or Calendly）
- 対象ご家族の情報を共有
- 1週間以内に調査計画をご提案

連絡先

佐藤卓也 — Soul Carrier Ambassador

- Email: business@satotakuya.jp
- Web: bit.ly/pearlmemorial
- 予約: calendly.com/pearlmemorial

「共鳴が道を開く」

Soul Carrierの創設パートナーになってください。共に、80年の断絶を癒しましょう。一つの家族ずつ。